

動物の体のはたらき

まとめプリント

重要語一覧 消化 消化液 だ液 消化管 口 胃 小腸 大腸 肺 酸素 二酸化炭素 肺ほう 心臓 血液
血管 肝臓 腎臓 によろ

学ぶべきこと

Lesson 01 消化のしくみ

重要語：消化 | 消化液 | だ液 | 消化管

- 消化とは何をするのか。
 - 食べ物を、体に吸収できる小さな養分に分解することである。
- 消化に関わる液を何というか。
 - 「消化液」という。だ液・胃液・すい液・たん汁などがあり、それぞれの場所で違うはたらきをする。
- だ液は何を消化するか。
 - でんぷんを糖に変えるはたらきをもつ。ご飯をよくかむと甘く感じるのはこのためである。

まとめ：消化＝食べ物を体に吸収できる養分に分解すること。だ液はでんぷんを糖に変える。

Lesson 02 消化管の通り道

重要語：口 | 胃 | 小腸 | 大腸

- 消化管の主な部分を順に挙げよ。
 - 口 → 食道 → 胃 → 小腸 → 大腸 → 肛門、の順である。
- 養分が吸収される主な場所はどこか。
 - 「小腸」である。長さは6～7mあり、内側はひだとじゅう毛で表面積が大きくなっている。
- 大腸のはたらきは何か。
 - おもに水分を吸収する。残りはふんとして体外に出される。

まとめ：消化管は「口→食道→胃→小腸→大腸→肛門」。養分は小腸で吸収される。

Lesson 03 呼吸のしくみ

重要語：肺 | 酸素 | 二酸化炭素 | 肺ほう

- 息を吸ったり吐いたりするのはどこのはたらきか。
- 「肺」のはたらきである。肺は2つあり、胸の中におさまっている。
- 肺で行われる気体の交換を説明せよ。
- 空気中の酸素を血液に取り込み、血液から二酸化炭素を空気中に出す。
- 肺ほうとは何か。
- 肺の中にある、小さなふくろ状の構造である。気体のやりとりはこの肺ほうの表面で行われる。

まとめ：呼吸＝肺で「酸素を取り込み二酸化炭素を出す」気体の交換。

Lesson 04 血液の循環

重要語：心臓 | 血液 | 血管

- 心臓のはたらきは何か。
- ポンプのように血液を全身におし出す。1分間に約60～80回、休まず動いている。
- 動脈と静脈はどう違うか。
- 動脈は心臓から出ていく血液が流れる血管。静脈は心臓に戻ってくる血液が流れる血管である。
- 血液は何を運ぶか。
- 酸素・養分・二酸化炭素・不要物などを運ぶ。体のすみずみまで届ける役目をもつ。

まとめ：心臓が血液をポンプで送り出し、血管を通して酸素・養分・老廃物を運ぶ。

Lesson 05 養分・酸素・不要物の道

重要語：肝臓 | 腎臓 | しよう

- 肝臓のはたらきを2つ挙げよ。
- ①小腸から吸収した養分を一時的にたくわえ、体に必要なときに送り出す、②体に有害な物を分解して、無害な物に変える。
- 腎臓のはたらきは何か。
- 血液中の不要物をこし出し、しようとして体外に出すはたらきである。

まとめ：肝臓は養分の貯蔵と解毒、腎臓は血液中の不要物をしようとして排出する。